

編集後記

暑中お見舞申し上げます。

夏休のひと時、緑陰に横たわりながら、
身边に生じているリハビリテーション医療
の問題点に想いをめぐらすこともあるので
はないかと存じます。

今月の特集は、「リハビリテーション医療
の問題点」と題して日本リハビリテーショ
ン医学会の専門医・認定医の方々の御意見
を集めたものであります。専門医・認定医
合わせて30名の方に執筆を依頼した所、一
名の欠落も無く全員から御意見をいただく
ことができました。企画の段階での心配は、
テーマが2・3のトピックスに集中して、
同じ様な意見の羅列にならないかというこ
とでしたが、それは全くの杞憂に終わり、
極めて幅の広い多彩な御意見が並ぶこと
になりました。それらの中には、「リハビリ
テーション医不要論について」という穏や
かならざるテーマもありましたが、これは、
視覚障害、聴覚障害、内部障害から精神障
害までを含めた全ての障害に対応しなけれ
ばならぬような専門医は要らない、という
博田氏のブラックユーモアであった次第で
す。

このほか本号では、中島（咲）氏の巻頭
言、篠塚氏らおよび片伯部氏らの研究論文、
保坂氏らのリエゾン精神医学の紹介、中島

（祥）氏による講座・末梢神経の生理、宮原
氏による講座・リハビリテーションのため
の統計学、青山氏による一頁講座・足継手
と足部等の多彩な内容を掲載することがで
きました。

本号のひと欄は、今春、鹿児島大学に新
設されたリハビリテーション科の初代教授
に就任された田中信行氏です。国立大学
の中に初めて設けられたリハ講座であり、そ
の意義は極めて大きいと思われます。これ
を口火として、全国の大学に次々とリハ講
座が開設されることを期待してやみませ
ん。

なお、本号には、本年6月15日に脳出血
で急逝された砂原茂一先生の絶筆ともいえ
る貴重な論文が掲載されています。「藤井静
雄——もう一人の先駆者」がそれで、本誌
15巻4号の特集「リハビリテーションの歴
史」の先生の論文の中で簡単に触れられた
藤井静雄氏のことを詳しく紹介されたもの
であります。6月初旬の横浜での日本リハ
ビリテーション医学会には元気な姿を見せ
ておられた先生が、僅か半月後に幽明境を
異にされてしまいました。砂原先生がリハ
ビリテーション医学界に盡された大きな御
功績を偲びつつ、心から先生の御冥福をお
祈り申し上げます。

（横山 巖）

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
河 邨 文一郎
五 味 重 春
津 山 直 一
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
緒 方 甫
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
岩 倉 博 光
江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
荻 島 秀 男
奥 川 幸 子
加 倉 井 周一
小 島 蓉 子
斉 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 橋 勇
高 松 鶴 吉
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
土 肥 豊
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 歆
長 谷 川 恒 雄
初 山 泰 弘
福 井 圀 彦
松 村 秩
三 島 博 信
矢 谷 令 子
米 本 恭 三
渡 辺 英 夫
（五十音順）

総合リハビリテーション （第16巻 第8号）

1988年8月10日発行（毎月1回10日発行）

1部定価 1,750円（配送料60円）

（年ぎめ予約購読料 19,560円）
（送料弊社負担）

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 社内案内 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5704

（担当：山田・細田）

販売部直通 (03) 817-5659・5660

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 三報社印刷(株)：電話 (03) 637-0005

広告申込所 (株)東広社：電話 (03) 409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1988, Printed in Japan.
本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。